

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成26年9月)

平成26年9月11日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況										補足説明
			10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第16回定期検査中 定検停止期間:H23.8.6~	第15回 H19.5.4~H22.8.4 停止期間 H19.5.4~ H22.6.6 (1130日) (原子炉起動H22.5.31)	第16回定期検査による停止										
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3~H18.5.9 停止期間 H17.9.3~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定期検査による停止										
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12~H18.9.15 停止期間 H18.5.12~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定期検査による停止										
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9~H19.1.11 停止期間 H18.4.9~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定期検査による停止										
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第13回定期検査中 定検停止期間:H24.1.25~	第12回 H18.11.24~H23.2.18 停止期間 H18.11.24~ H22.11.25 (1463日) (原子炉起動H22.11.18)	第13回定期検査による停止										
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H24.3.26~	第9回 H22.10.31~H23.3.9 停止期間 H22.10.31~ H23.1.26 (88日) (原子炉起動H23.1.23)	第10回定期検査による停止										
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H23.8.23~	第9回 H22.4.18~H22.7.23 停止期間 H22.4.18~ H22.6.28 (72日) (原子炉起動H22.6.26)	第10回定期検査による停止										

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (8月末現在)

8月	0.0%
26年度累計	0.0%
運転開始後累計	56.2%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (8月末現在)

8月	0
26年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

④ ドラム缶発生量(本) (H26年度第1四半期)

当期発生本数	526
貯蔵庫累積貯蔵本数	31,047
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H26年度第1四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,734
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (9月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	823	2,202	56%
	刈羽村	91	184	5%
	その他	114	890	19%
	小計	1,028	3,276	80%
県外		93	1,010	20%
合計		1,121	4,286 (3,393※)	-
		5,407		100%
協力企業社数(社)			719	

※ 9月1日の協力企業構内入構者数

⑦ 来客情報(人) (8月末現在)

	8月	年度累計
地元	1,374	4,563
県内	768	3,654
県外	1,493	4,878
国外	13	57
合計	3,648	13,152

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
9月25日	定例の記者説明会
10月9日	次回定例所長会見

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）

平成26年9月11日

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	平成26年 9月4日	4号機	残留熱除去系電動弁の不具合について (区分Ⅲ)	<p>(発生状況) 平成26年9月3日午前11時34分頃、定期検査中の4号機（定格電気出力110万キロワット）の中央制御室において、残留熱除去系電動弁手動全開全閉試験（A系）（定例試験）のため、当社社員が格納容器冷却流量調節弁の全開操作を行っていたところ、電動弁の過負荷を示す警報が発生したことから操作を中断しました。現場確認の結果、当該弁は中間開度（約27パーセント開）であることを確認しました。このため、定例試験を中止しております。</p> <p>(安全性、外部への影響) 現在4号機の原子炉に燃料は装荷されておらず、残留熱除去系に関わる保安規定上の機能維持の要求はありません。また、外部への放射能の影響はありません。</p> <p>(対応状況) 当該弁について、手動による動作確認を行い異常がないことを確認しており、今後は電気関係について、詳細な調査を行っていく予定です。</p>